

第2回鶴岡市立加茂水族館振興基本計画策定委員会（会議概要）

- 1 日 時 令和元年 11 月 12 日(火) 午後 2 時から午後 4 時まで
- 2 場 所 加茂水族館レクチャールーム
- 3 出席者 【委員】7名 【説明員】6名 【事務局員】6名
- 4 次 第
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶
 - (3) 報告
 - ①第1回委員会での検討状況について
 - (4) 協議
 - ①鶴岡市立加茂水族館振興基本計画（案）及び概要版（リニューアル計画）について
 - ②管理・運営及び事業収支計画について
 - (5) その他
 - (6) 閉会

委員発言の要旨

- ・アンケート等でニーズや希望などをふまえた改築の方向性、増築棟の内容、売店、クラゲ展示スペース等の内容となっている。来年は東京オリンピックで海外からも来られるので、国際的な対応も含めて世界一になるように取り組んでいただきたい。
- ・加茂水族館は特に注目されていて、他と比較してもこれだけ経済効果を上げている博物館、水族館はない。加茂水族館は、世界一の展示種類数と独自に確立した高い繁殖技術という部分が世界中で評価を受けている。
- ・観光振興と地元の教育・学習機能の充実とともに、売店、食堂を含めて加茂水族館の特徴となっている。
- ・クラゲの展示種類数 70 種類以上を目標とし、新たにクラゲ水槽を 5～6 基程度増設することにより、魅力アップにつながる。
- ・アンケート分析からも、20 代の若者が多く訪れる観光施設になっており、今後、リニューアルの情報も PR に生かすことが重要である。
- ・インバウンドを増やすには、「食体験」「食事」の充実が重要である。
- ・エントランスについては、今後、分かりやすい動線となるよう検討してほしい。
- ・冬期間の観光施設の入込数は激減するため、屋内でクラゲ展示等を楽しめる加茂水族館の存在は大きい。
- ・観光振興の面で、他の観光施設と連携することにより地域活性化につながる。
- ・ふるさと納税の活用はいいアイデアであり、大きな目標と面白いキャッチフレーズでやってほしい。
- ・ハード整備に見合った人員体制が必要である。

- ・海獣コーナーの環境改善により、休憩スペースとしての活用も考えられる。
- ・来館者の8割が県外から来ている施設は、全国の中でも珍しい
- ・台湾などからのチャーター便を増便するなど、海外から人を呼ぶことが必要である。特に、雪国とあわせてクラゲを見られることをもっとPRしていくべきである。
- ・整備資金調達方法として、クラウドファンディングも考えられる
- ・加茂水族館の入館者数は、ほぼ横ばいで推移しており、経済効果は大きい。
- ・増築棟の休憩スペースから日本海を眺望できるように、2階に休憩スペースを設置し、ガラス張りにすることを検討してほしい。
- ・海獣ゾーンなど、既存館の課題への対応方針を今後検討していく必要がある。
- ・収入増加に向けた方策（レストランでの食体験機能の充実など）を具体的に盛り込む必要がある。
- ・食堂面積が拡大することにより団体客の受入が可能となる。
- ・年間パスポートについて、更に幅広く周知が必要である
- ・地元向けの入館料割引については、今後検討していただきたい。
- ・加茂水族館のクラゲ展示は、複数回来館することにより魅力が伝わるものであり、多く来館する方へは、特典としてポイントを付加する仕組みも必要と考える。